

東関協 03 発第 17 号

2022 年 1 月 26 日

お得意様各位

東関東生コン協同組合  
理事長 諸角 富美男



《 生コンクリート価格改定のお願い 》

拝啓 寒冷の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は弊協組事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊協組では 2021 年 6 月 1 日に生コン価格の改定を実施させて頂きました。お得意様各位のご理解ご協力を賜り、市場への浸透が進行しているところであり、十分とは言えないながらも表示価格の UP がなされております。

しかしながら、昨年の価格改定以降、皆様ご存じのとおり、セメントメーカー各社のかつてない大幅値上げをはじめとして、骨材業者や混和剤メーカー等の諸資材各社から大幅な値上げを突きつけられている状況です。こうした資材価格は、出荷ベースの値上げとなっており、一部実施済みとなっている資材もございます。

このように主原材料・諸資材の値上げ要請は現在の経済情勢や生コン業界を取り巻く環境を鑑みますと毎年継続的に実施される方向にシフトしており、生コン工場経営に大きな圧迫要因になるものと考えております。

一方、人材面では慢性的な働き手不足・ドライバー不足、働き方改革に伴う人件費の高騰がおきております。また、将来の担い手となる若手従業員を雇用することが難しい状況に陥っております。

生コン工場においては、工場の設備更新を行う費用の捻出が難しい中、工場設備の老朽化だけがいたずらに進み、その結果修繕コストの増加が甚だしい状態となっております。

また、工場へ残コンとして戻ってくる生コンは、産業廃棄物として工場に対応しておりますが、処理処分先確保が難しくなっており、将来的に懸念材料となっております。

こうした複合的な状況を小手先の対応でしのいでまいりましたが、そうした対応では限界となったため、下記のとおり今回の価格改定では、やむなく 3,000 円/m<sup>3</sup>という大幅な価格改定をお願いせざるをえない事態となりました。

弊協組としては、かつて実施したことのない大幅な改定金額であり、お得意様各位には大変ご迷惑をおかけする金額であると承知しておりますが、事情ご賢察の上、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

- 1、値上げ額 : 1 m<sup>3</sup>当たり 3,000 円 (標準品 18-18-20N)
- 2、実施時期 : 2022 年 6 月 1 日以降の引合受付分より

以上